

発行日/2015年4月10日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info



18

みみよい

「あいうえお」

施設長 井澤 昭夫

早いもので、新年度がスタートしました。開所4年目を迎えることとなります。当センターの指定管理の契約期間が5年なので、半分以上過ぎたこととなります。制度の活用という意味では、現在の人員で可能な限りのことはして来たと思いますが、この3年を振り返り、聞こえない方に十分な支援をおこなえたのか検証しなければなりません。相変わらず同じミスを繰り返すこともありま。気持ちを引き締めて新年度に臨みたいと思います。

さて、年度替わりには、必ず手話通訳や要約筆記の登録者としての活動から身を引かれる方がおられます。支援する側の問題として、手話通訳や要約筆記をやめるとその対象となる聞こえない方との交流も途絶えてしまうことが多いと言う悲しい実態があります。防災への取り組みでは一番の鍵は地域でのつながりだと言われています。登録から身を引かれた方も、地域のバリアフリーの担い手として、手話サークルなどで聞こえない方との交流を続けていただきたいと思います。

「人工内耳」について学習しました

2月28日、近畿大学医学部 耳鼻咽喉科の土井勝美先生をお迎えし、人工内耳の手術とリハビリテーションについてお話いただきました。



「人工内耳」と言えば、小児が受けるものと思っていたのですが、実際には高齢者の手術も多く、中には80代の方の成功例も。術後の聞こえの安定性や合併症のリスクも、65歳以上の方と若年層の差は認められないとのことでした。埋め込む電極や手術の方法も進化していて、残った聴力を傷つけないよう、内耳の状態に合わせてインプラントや手術法を選択することができます。周りの人のおしゃべりやテレビを楽しみたい気持ちに、年齢は関係ありません。また、子どもたちにとっては、コミュニケーションが成長・発達の大切な要素でもあります。聞こえにくいことで人間関係が狭くなってしまふことのないよう、今後も「聞こえ」に関する情報をお届けしていきます。

「聞こえの相談会」は、年4回の開催。日程は、市の広報やチラシ、センターのホームページでお知らせしていきます。ひとりでも悩まず、ぜひ、相談会にご参加ください。

読めるかな？

堺の神社シリーズです



堺市東区にある通称 萩原天神

萩原神社

健やかな成長を願うユニークな神事、赤ちゃんの泣き相撲(昭和の日)が行なわれます。



「みみサロン」を開催しました!

当日は雨が降り、まだ寒さが残る日でしたが、久しぶりの薄着でエアロビクスをしました。参加者は10名。講師は日向(ひゅうが)さん。ご自身も難聴ですが、ダンスや音楽がとても大好きな方です。手話での自己紹介から始まり、エアロビクスの豆知識も教えていただきました。「体は必ず動かし続けること!! “しんどい”と思ってもすぐには止めないこと!!」と注意があり、エアロビクスが始まりました。日向さんもみんなの動きや雰囲気に合わせて、ゆっくり進めたり、少しレベルを上げてみたり…と、いろいろと工夫してくださいました。



同じ動きを何回か繰り返した後、最後は丸くなってストレッチ。隣の人とのスキップも楽しみながら体をケアし、終了しました。

いやー、大人になると本当に運動不足になりがちですねー。少し早く動いただけで息が乱れたり…。

今後も「みみサロン」では、運動不足の解消や、みなさまの“運動をしたい”という気持ちを応援できるような企画を1年に1回は作っていきたいと思っています。また次回もご参加ください♪。

5月の「みみサロン」は「歯と口の健康」がテーマ。障害者の歯科治療に携わっておられる村上旬平先生にお話していただきます。いつまでも自分の歯でしっかりと食事がとれるよう、みんなで勉強したいと思います。ご参加、お待ちしております。



難病の相談は「難病患者支援センター」へ

平成27年1月に「難病法」が施行され、「指定難病」が56疾患から110疾患に拡大しました。聴覚障害で1級・2級の身体障害者手帳を持っている方は、すでに「障害者医療費助成制度」を利用しておられると思います。「わざわざ難病の申請をしなくても、医療費は同じ」、「難病申請は毎年しないといけないから面倒」、ということもありますが、自分の病気を理解し、さまざまな情報を得ることができますので、ぜひ、医療費助成申請をお勧めします。

「堺市難病患者支援センター」は、堺市立健康福祉プラザの4階にあります。それぞれの難病の学習会や交流会を定期的で開催しています。また、同じ病気の患者同士の「仲間相談」も利用していただけます。

「病院で、難病と言われたけれど、私の病気はどんな病気?」と不安に思っている方は、相談してくださいね。



堺市難病患者支援センター FAX: 275-5038 TEL: 275-5056

「ボイスルーラー」使ってみてね！

聴覚に障害があると、自分がどのくらいの声を出しているのかもわかりにくくなります。「うるさいからもっと声を小さくして！」と叱られたり、逆に、「声が小さくて聞き取れない」と何度も聞き返されたり、そんな経験はありませんか？

「ボイスルーラー(声のものさし)」は、その名の通り、自分の声の大きさがメモリ(ランプ)で表示される機器です。目で見てわかる機器です。



青のランプは

「小さい声/ちょっと聞こえにくい」



青と緑のランプは、緑の数で

「2~3人と話す声、5~6人で話す声」



赤のランプがつくと

「大きな声/大勢に話す声」



ランプの色や数で声の大きさがわかるので、場面に合わせて声の大きさを調整することができます。図書館など、静かにしないといけない所では「青の声で」、大きな部屋でたくさんの人に話をするときは「赤いランプがつくように」と、練習することができます。

この「ボイスルーラー」は、お試用の1台をビデオライブラリーの部屋に置いています。貸し出し用も1台ありますので、使ってみたい方はセンター窓口で登録手続きをしてください。貸出期間は1週間です。

「字幕電話」を使ってみました!!

「字幕電話」のモニターができる聞きつけ、さっそく試してみました。

この事業を行っている(株)アイセックジャパンに申し込み、届いたのは字幕表示端末(タブレット/アンドロイド)と変換ケーブル。機器をつないで電話をかけると、「字幕サポートセンター」が相手の声を代わりに聞き、要約してタブレットに字幕表示してくれるのが、この「字幕電話」です。

まず、マイクの付いたイヤホンを受話器にセットし、タブレットのアプリから「字幕電話スタート！」を押します。ドキドキしながら相手の電話番号をプッシュ。

1回目の呼び出し音、2回目の呼び出し音・・・相手が出ました！

「もしもし」と話してみる。(おお！「もしもし！」なんて、何年ぶりの電話よ。)

難聴の私は、電話をしない人と思われているので、突然電話をした相手は

「何？どうした？聞こえる？」なんて焦っている。

これもすべて字幕で表示されます。

音声字幕になるということは、「センターが聞く」→「タブレットに表示される」→「自分が読む」となるので、電話相手との間に

時差が生まれますが、そんなことより電話をしているということが飛び跳ねたいくらいうれしい。

いろいろ話していると、固有名詞の漢字変換が難しいなど課題も多いですが、話しことばはちゃんと大阪弁になっているし、病院予約や宅急便の電話など活用できそうです。

3月31日でモニターが終了しましたが、第二弾のモニター体験もしっかり申し込みました。

次のご報告も、どうぞお楽しみに!!

詳細は、株式会社アイセック・ジャパン(FAX:098-923-2897)までお問い合わせを。



手話奉仕員・通訳者養成講座

通訳者養成講座 開講します

3月に手話通訳者養成講座の募集を開始、23名の方からお申し込みをいただきました。受講試験はありますが、たくさんの方が合格されることを期待しています。手話講座・レベルアップ講座も5月に募集開始です。



要約筆記者養成講座

新年度の講座 開講準備中!

27年度の要約筆記者養成講座は手書きコースです。講義は5月から始まります。受講生とどんな出会いがあって、どんな要約筆記者が誕生するのか、今から楽しみです。



センターの行事

4月18日(土) 10:30~11:30

「手話での絵本の読み聞かせ」

5月16日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」

歯と口の健康

～自分の歯を守りましょう～

5月28日(木) 14:00~16:00

「聞こえの相談会」

補聴器と周辺機器のお話

※ 要申込・先着順

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

4月18日(土)は「春のプラザまつり」

2階では絵本の読み聞かせやミニ手話教室も開きます。

ぜひ、お越しください!!

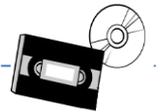


秀人のおすすめ

松本潤と耳の不自由な子どもたち

心をひとつに刻むタップダンス」

嵐の松本潤さんが、ろう学校の生徒とタップダンスを武道館で披露します。音が聞こえない子どもたちがどうやってタップを合わせるのか、子どもたちと松本潤の練習から本番までを紹介します。



「サラリーマンライフ

～ろう者と聴者が共に働く職場づくり～

ろう・難聴者と共に働く職場環境づくりに取り組んでいる会社取材し、ろう・難聴者と聴者がコミュニケーションを図ることができ、快適に働くことができる職場環境とは何か、その環境をどのように整えているかを紹介します。

両張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

3月28日(土)、平成27年度の登録者説明会を開催しました(予備日4/3に再度開催)

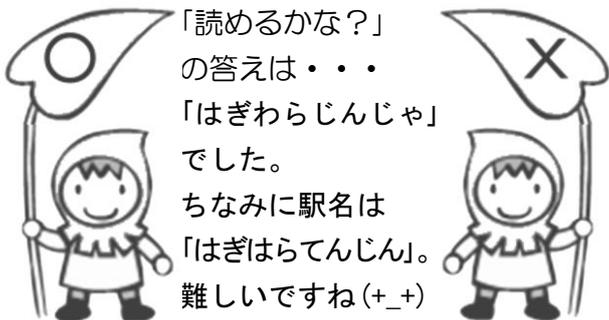
今年度も多くの方に手話通訳者・要約筆記者として登録いただきました。

1年間、お世話になります。よろしくお願いたします。

新規登録者研修を予定しています

要約筆記者実技研修 4/22(水):手書き 4/23(木):PC

登録者合同研修 5/20(水):講義 5/27(水):実技



事業状況		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
2月	派遣数	255件	18件	7件	6件	28人	61本
	派遣人数	278人	34人	10人	19人	新規登録者: 1人	
3月	派遣数	303件	12件	10件	12件	12人	31本
	派遣人数	346人	23人	26人	42人	新規登録者: 1人	

ご協力ありがとうございました

